

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場会社名 サカタインクス株式会社
コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高丸 博次

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮田 明夫

TEL 06-6447-5822

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	30,187	2.8	1,277	14.4	1,608	4.7	643	△34.1
24年3月期第1四半期	29,352	1.5	1,116	△15.3	1,536	△8.3	977	5.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,079百万円 (8.3%) 24年3月期第1四半期 996百万円 (483.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	10.63	—
24年3月期第1四半期	16.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	92,955		38,131			40.1
24年3月期	90,994		37,404			40.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 37,257百万円 24年3月期 36,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	62,500	5.5	2,600	38.9	3,000	21.5	1,650	10.9	27.27
通期	127,000	6.2	5,500	29.1	6,400	29.2	3,900	30.8	64.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	62,601,161 株	24年3月期	62,601,161 株
25年3月期1Q	2,086,674 株	24年3月期	2,085,645 株
25年3月期1Q	60,515,019 株	24年3月期1Q	60,518,116 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、欧州債務問題の長期化の影響などにより、アジアにおいても減速傾向がみられるなど、全体として弱い回復となりました。日本経済は、復興需要などにより国内需要が緩やかに回復しつつありますが、海外景気の下振れリスクに加え、デフレの影響や電力供給の制約が懸念されるなど厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した高機能・高品質製品や地域密着型製品の開発、TPM活動の水平展開による低コスト化に取り組みました。また、企業努力で吸収できる限界を超える主要原材料価格の上昇については、販売価格の改定にも取り組みました。一方、機能性材料では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。

売上高は、円高による為替換算の影響を受けましたが、印刷インキ事業において、アジアを中心に印刷インキの拡販が進んだことに加え、前年度より取り組んでいる販売価格の改定が寄与したことから、301億8千7百万円（前年同期比2.8%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加および販売価格の改定により、営業利益は12億7千7百万円（前年同期比14.4%増加）、経常利益は16億8百万円（前年同期比4.7%増加）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損が増加したことから、6億4千3百万円（前年同期比34.1%減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益又は営業損失(△)		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材(日本)	14,376	14,393	17	0.1%	0.1%	780	870	89
印刷インキ(アジア)	3,802	4,452	649	17.1%	27.6%	101	183	82
印刷インキ(北米)	6,628	6,908	280	4.2%	7.6%	△56	40	97
印刷インキ(欧州)	1,465	1,443	△21	△1.4%	4.2%	48	52	4
機能性材料	1,726	1,380	△345	△20.0%	△18.0%	135	△0	△136
その他	3,101	3,262	160	5.2%	5.2%	79	93	14
調整額	△1,747	△1,653	93	—	—	28	35	7
合計	29,352	30,187	834	2.8%	5.3%	1,116	1,277	160

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材(日本)

印刷情報関連では、昨年の震災後の広告減少に伴う需要減少の反動により、新聞インキ、オフセットインキともに、前年同期を上回りました。パッケージ関連では、フレキソインキは飲料、食品関係の需要が堅調で前年同期をやや上回りましたが、グラビアインキは、昨年の震災後の需要増加の反動により、前年同期を下回りました。機材につきましては、印刷製版用材料が国内印刷市場の低迷により低調に推移しました。これらの結果、売上高は143億9千3百万円(前年同期比0.1%増加)となりました。

利益面では、徹底したコスト削減に加え、販売価格の改定が寄与したことから、営業利益は8億7千万円(前年同期比11.5%増加)となりました。

②印刷インキ(アジア)

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、積極的に拡販を推し進め、インドネシア、インド、ベトナムなどで好調に推移しました。売上高は、当第1四半期よりフィリピンの子会社(CDI SAKATA INX CORP.)を連結の範囲に含めたことにより、現地通貨ベースで大幅に増加しましたが、円高による為替換算の影響を受けた結果、44億5千2百万円(前年同期比17.1%増加)となりました。

利益面では、販売数量の増加に加え、前年度に実施した販売価格の改定が寄与したことから、営業利益は1億8千3百万円(前年同期比81.8%増加)となりました。

③印刷インキ(北米)

オフセットインキは、メディアの多様化や景気低迷による需要減の影響を受けて、低調に推移しました。主力のパッケージ関連では、北米や中南米などでのパッケージ需要の高まりを背景として、フレキソインキ、グラビアインキが好調に推移し、メタルインキの拡販も進みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、販売価格の改定が寄与したことから、69億8百万円(前年同期比4.2%増加)となりました。

利益面では、販売数量の増加に加え、生産効率化などによるコスト削減が寄与したことから、4千万円の営業利益(前年同期は5千6百万円の営業損失)となりました。

④印刷インキ(欧州)

欧州債務問題の深刻化に伴い景気が悪化する中で、主力であるパッケージ関連のグラビアインキは拡販が進みましたが、全体としては伸び悩みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、14億4千3百万円(前年同期比1.4%減少)となりました。

利益面では、販売数量の増加により、営業利益は5千2百万円(前年同期比10.3%増加)となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、トナーは需要の低迷により低調に推移し、インクジェットインキは競争の激化に伴って欧米での販売が振るわず低調でありました。画像表示材料分野では、市場環境が厳しい中、カラーフィルター用顔料分散液が前年同期並みとなりました。これらの結果、売上高は13億8千万円(前年同期比20.0%減少)となりました。

利益面では、売上高の減少に加え、減価償却費などのコスト増加が響き、0百万円の営業損失(前年同期は1億3千5百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、時価評価により投資有価証券が減少したものの、売上債権やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末比19億6千1百万円(2.2%)増加の929億5千5百万円となりました。

負債は、借入金や未払費用の増加などにより、前連結会計年度末比12億3千4百万円(2.3%)増加の548億2千4百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末比7億2千7百万円(1.9%)増加の381億3千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,198	5,288
受取手形及び売掛金	36,546	37,694
商品及び製品	5,838	6,343
仕掛品	761	769
原材料及び貯蔵品	4,328	4,781
その他	2,357	2,242
貸倒引当金	△364	△404
流動資産合計	54,667	56,714
固定資産		
有形固定資産	19,239	19,790
無形固定資産		
のれん	220	295
その他	926	994
無形固定資産合計	1,147	1,289
投資その他の資産		
投資有価証券	14,221	13,197
その他	2,847	3,008
貸倒引当金	△1,129	△1,044
投資その他の資産合計	15,940	15,161
固定資産合計	36,326	36,241
資産合計	90,994	92,955
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,295	22,474
短期借入金	6,488	7,276
1年内返済予定の長期借入金	6,682	6,253
未払費用	2,476	3,448
未払法人税等	885	670
賞与引当金	1,025	525
その他	3,155	2,257
流動負債合計	43,009	42,907
固定負債		
長期借入金	6,299	7,565
退職給付引当金	2,726	2,774
資産除去債務	69	70
その他	1,485	1,507
固定負債合計	10,581	11,917
負債合計	53,590	54,824

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,868	5,915
利益剰余金	33,363	33,563
自己株式	△638	△638
株主資本合計	46,066	46,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	902	426
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△10,316	△9,482
その他の包括利益累計額合計	△9,412	△9,055
少数株主持分	750	873
純資産合計	37,404	38,131
負債純資産合計	90,994	92,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	29,352	30,187
売上原価	22,922	23,582
売上総利益	6,429	6,604
販売費及び一般管理費	5,312	5,327
営業利益	1,116	1,277
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	127	130
持分法による投資利益	275	217
その他	127	96
営業外収益合計	549	460
営業外費用		
支払利息	107	110
その他	22	19
営業外費用合計	130	129
経常利益	1,536	1,608
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
投資有価証券評価損	8	376
有形固定資産除却損	—	31
特別損失合計	8	407
税金等調整前四半期純利益	1,528	1,207
法人税、住民税及び事業税	722	774
法人税等調整額	△179	△243
法人税等合計	542	531
少数株主損益調整前四半期純利益	985	676
少数株主利益	8	33
四半期純利益	977	643

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	985	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△395	△497
為替換算調整勘定	265	490
持分法適用会社に対する持分相当額	141	409
その他の包括利益合計	11	402
四半期包括利益	996	1,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	958	1,000
少数株主に係る四半期包括利益	37	78

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,366	3,773	6,180	1,427	1,698	27,446	1,905	29,352	—	29,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	28	448	37	27	551	1,195	1,747	△1,747	—
計	14,376	3,802	6,628	1,465	1,726	27,998	3,101	31,099	△1,747	29,352
セグメント利益又は 損失(△)	780	101	△56	48	135	1,009	79	1,088	28	1,116

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額28百万円には、セグメント間取引消去75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,382	4,437	6,434	1,433	1,358	28,047	2,140	30,187	—	30,187
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	14	474	10	22	531	1,121	1,653	△1,653	—
計	14,393	4,452	6,908	1,443	1,380	28,579	3,262	31,841	△1,653	30,187
セグメント利益又は 損失(△)	870	183	40	52	△0	1,148	93	1,242	35	1,277

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額35百万円には、セグメント間取引消去81百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△46百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。